

校長室の窓から～夢の扉第44号～vol. 144 R5. 2. 13 (月)

学年末考査が始まります。

文責 学校長



～4日間受験ができるようにコロナ・インフルの感染にも気をつけよう～

今週の木曜日（2月16日）から学年末考査が始まります。土・日を挟んで4日間の日程で行われます。1年間の総まとめのテストですので、最大限の努力の成果を期待します。またコロナ・インフル感染にも気をつけましょう。

1 国公立大学入試前期日程まで残り10日・・・我流に走らず先生方の指導を信じて

3年生は、私大入試もシーズンに入り、国公立大学を第一志望にする生徒の入試本番（個別大学入試・前期日程）まで残すところ10日となりました。3年生の最終授業日（2月10日）以降も、個別大学入試に向けての志望別授業は実施していますので、最後まで先生方の指導を信じて努力を続けてください。くれぐれも我流の学習に走らないように。また、1・2年生は木曜日から21日（火）まで学年末考査が続きます。結果は「努力したしこ」です。苦手な科目も投げやりにならず精一杯努力しましょう。「努力、努力、努力は奇蹟を生む。」勉強漬けの1週間にチャレンジ!!

2 少林寺拳法部が教育長表彰を受けました。

2月10日（金）に県庁で「令和4年度第2回教育長表彰式」が行われ、少林寺拳法部が九州高等学校少林寺拳法選抜大会でそれぞれ1位に輝いたメンバーが表彰されました。対象となったメンバーは、男子規定組演武の鈴木然くん（1-1）・松尾風吾くん（1-6）、女子規程組演武の金丸実結さん（1-3）・岩永理子さん（1-2）、女子自由組演武の真崎萌々子さん（2-2）・瀬崎希さん（2-4）、女子規定単独演武の原千智さん（1-3）、男子自由単独演武の福島博人くん（2-6）、男子自由組演武の江口慶くん（2-4）です。また、全国エッセイコンテスト「17歳のメッセージ」でグランプリに輝いた北川輪さん（2-5）も表彰されました。



3 バドミントン部シングルスで第3位に輝きました。

2月5日（日）に行われたバドミントンの「第36回佐賀県高等学校生徒普及・向上大会」において、男子シングルスで百武航一郎くん（1-4）が第3位に輝きました。

4 今週の名言・・・鷲田清一の言葉です。

自分がわかっていないことがわかるということが一番賢いんです。

【解説】今週の一冊でも紹介している哲学者・鷲田清一氏の言葉です。人は、学問をすればするほど、いろんな本を読めば読むほど、自分の浅薄さに気づかされます。しかし、そのたびごとに新しい知識・考え方・人生に出会って一歩前進した自分に喜びを感じることも多々あります。鷲田氏の言うように「自分がわかっていないことがわかる」ために、そして謙虚な姿勢でわかっていなかったことを努力してさらに良く理解し自分のものとするために、我々は日々精進しているのかもしれないね。

【鷲田清一について】日本の哲学者（臨床哲学・倫理学）。大阪大学名誉教授、京都市立芸術大学名誉教授。せんだいメディアテーク館長。関西大学文学部教授、大阪大学総長、京都市立芸術大学理事長・学長などを歴任した。主な著書に『モードの迷宮』・『現象学の視線』・『「聴く」ことの力』などがある。（参考：「Wikipedia」より）

5 今週の話事成語・・・「千慮の一失」【問題】英語で表現すると？

どんなに賢い人でも、多くの考えの中には一つくらい間違いや思い違いがあるということ。
(出典：『史記』淮陰侯伝より)

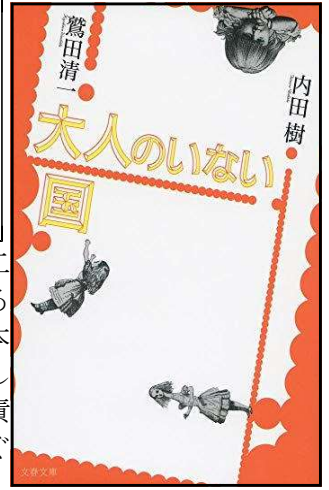
【由来】思慮分別のある者でも、時にはまさかというような失敗をすることがあるのだから、どんなに考慮したつもりでも思いがけない失敗は隠れているということ。『史記』淮陰侯伝に「智者も千慮に必ず一失有り。愚者も千慮に一得有り（知恵者でも必ず千に一つの考え損ないはあり、愚か者でも必ず千に一つのうまい知恵が出る）」とあるのに基づく。「千慮一失」を「浅慮一失」と書くのは誤り。

6 入試によく出る漢字(その69)・・・広島大学(2015・14年度入試)に挑戦!

- (1) 科学的原理をタクみに用いたり (2) 客観的世界はコウジョウ的变化と刷新を基盤にする。
- (3) アートは看護実践の基軸となる価値観がイキョウしている。
- (4) 感情に振り回されてその感情のカチュウへと埋もれて入ってしまう。(5) 自己をシキンセキにかける。
- (1) 一般人の頑張りや学力の高さが実直な中間層を育てるのにコウケンしている。
- (2) コウケンしているとカッパしていたのである。(3) 少子化による受験圧力の大幅な軽減で、ホウカイした。
- (4) 様々な受験競争緩和策が傾斜的選抜システムをユるがせた。
- (5) こうした慰め・冷却イデオロギーのシントウによって、

7 今週の一冊・・・鷲田清一・内田樹の『大人のいない国』(文春文庫)です。

「こんな日本に誰がした」犯人捜しの語法でばかり社会を論じる人々、あらゆるものを費用対効果で考える消費者マインド、クレマー体質・・・日本が幼児化を始めたターニング・ポイントはどこにあったのだろうか。知の巨人ふたりが、大人が消えつつある日本のいまを多層的に分析し、成熟への道しるべを示した瞠目の一冊。(参考：本書裏表紙説明より)

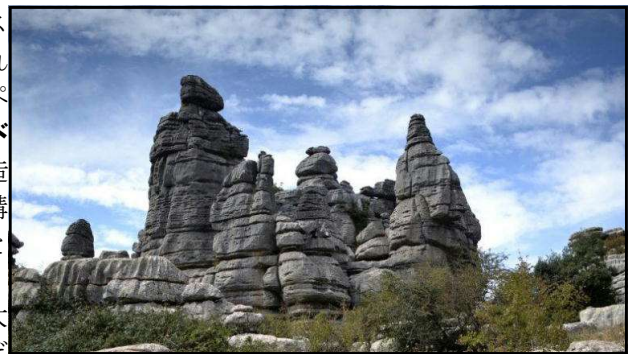


【解説】今週の名言でも紹介している鷲田清一氏と第3号・40号で紹介した内田樹氏の二人の知の巨人の対談とそれぞれの論説で構成された一冊です。私生活でも頻繁に交流のある二人が、「成熟した大人とは」について語り合います。「失われた30年」と言われるほど日本経済が停滞し続ける現状に対して、その原因を巡って、「こんな日本に誰がした」と犯人捜しをする世の中で、「こんな日本に私がした」とは誰も思っていない。そんな老いも若きも「責任者を出せ!」と騒ぐクレマー天国で、いまや絶滅危惧種と思われる「本当の大人」をめぐって二人の哲学者がとことん語っています。図書館に入っていますので、是非ご一読を。

【作者・鷲田清一・内田樹について】○鷲田清一・・・大阪大学総長。1949年、京都市生まれ。京都大学大学院文学研究科哲学専攻博士課程修了。関西大学文学部教、大阪大学文学部教授、同大学大学院文学研究科長・文学部長、副学長を経て2007年より現職。専門は哲学、倫理学。89年、『モードの迷宮』および『現象学の視線』で、サントリー学芸賞受賞。00年、『聴く』ことの力』で、桑原武夫学芸賞受賞。○内田樹・・・神戸女学院大学教授。1950年、東京都生まれ。東京大学文学部フランス文学科卒業。東京都立大学大学院博士課程中退。東京都立大学人文学部助手、神戸女学院大学文学部総合文化学科助教授を経て、96年より現職。専門はフランス現代思想、武道論、映画論など。2007年、『私家版・ユダヤ文化論』で、小林秀雄賞受賞(参考：本書表紙裏の著者紹介文より)

8 世界遺産を巡る・・・第94回はアンテケラのドルメン遺跡(スペイン)(登録：2016年)

【解説】「アンテケラのドルメン遺跡」は、2016年トルコ・イスタンブールで開催された第40回世界遺産委員会において新規登録されたスペインの世界文化遺産です。アンテケラのドルメン遺跡は、スペインの南部アンダルシア地方マラガ近郊のアンテケラにあります。ドルメンとは、「支石墓」という意味。アンテケラには、巨大な石で造られた建造物が数多く残っています。アンテケラのドルメン遺跡の構成資産は、スペインにある巨石建造物の中でも大変保存状態がよいとされるメンガ支石墓、ビエラ支石墓、エル・ロメラルの円形墳墓と、ペーニャ・デ・ロス・エナモラドスとエル・トルカという2つの巨大な岩山からなります。アンテケラのドルメン遺跡は、スペイン国内だけでなくヨーロッパ全体から見ても、先史時代を代表する巨石建造物の一つで、且つ先史時代の巨石記念物文化を現代に伝えるものとして評価され、世界遺産として登録されました。(参考：「世界遺産人気ランキング」より)



9 街角グルメを訪ねて・・・第94回は神埼市の「魚屋食堂」です。

吉野ヶ里町文化体育館にバスケットの応援に行った時に立ち寄ったお店です。以前から通る度に気になっていたお店でした。魚料理の定食や丼がメインのお店ですが、「から揚げ定食」(890円)、「とんかつ定食」(1000円)、「チキン南蛮定食」(980円)などの肉の定食もあります。定食類には+300円で「お刺身」をつけることができます。この日は「カキフライと白身魚フライ定食(お刺身付き)」(1370円)を注文。「魚屋食堂」の店名どおり、フライの食材も刺身も新鮮で美味でした。他にも「海鮮丼」(1350円)、「しらす丼」(800円)、「日替わり焼魚定食」(960円)、「日替わり煮魚定食」(1000円)、「漬け定食」(450円)などがあります。住所は、神埼市神埼町田道ケ里2100-4です。駐車場のスペースはお店の前と横に十分にあります。



10 保護者の皆様へ・・・受験先の天候情報・交通情報にもご注意を。

私立大学等の入試も佳境を迎えていますが、地域によっては大雪に見舞われ、飛行機や新幹線が欠航・運休になるケースも起きていますので、受験で移動される際は、天候情報・交通情報にも十分注意して余裕を持った受験スケジュールを調整してください。また、今後、国公立大学推薦入試や私立大学入試の合格発表が続々と届くこととなります。合格通知を受け取ったら、次は大学等から届いた書類を確認し、締め切り日に間に合うように手続きをしてください。

【英語】◇ the mistake of a wise man (思わぬしくじり)

◇ an oversight [a slip] by a very careful [normally wise] man ◇ It is a wise man who never makes mistakes

【正解】(1) 巧み (2) 恒常 (3) 依拠 (4) 渦中 (5) 試金石

(1) 貢献 (2) 喝破 (3) 崩壊 (4) 揺るがせた (5) 浸透